

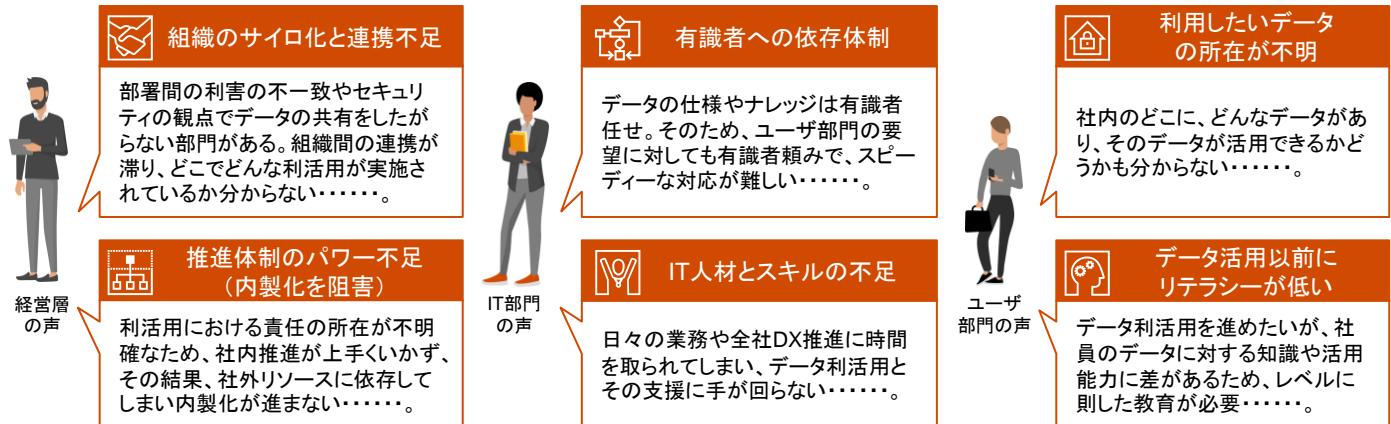
データ駆動型組織の実現に向けた変革支援

データ利活用の自立化と自走化組織の実現に向けた「データの民主化」サービス

全社員が必要な時に必要なデータにアクセスし、有効活用できる環境を作り出し、その結果として企業全体でデータ駆動型経営の実現を目指す。

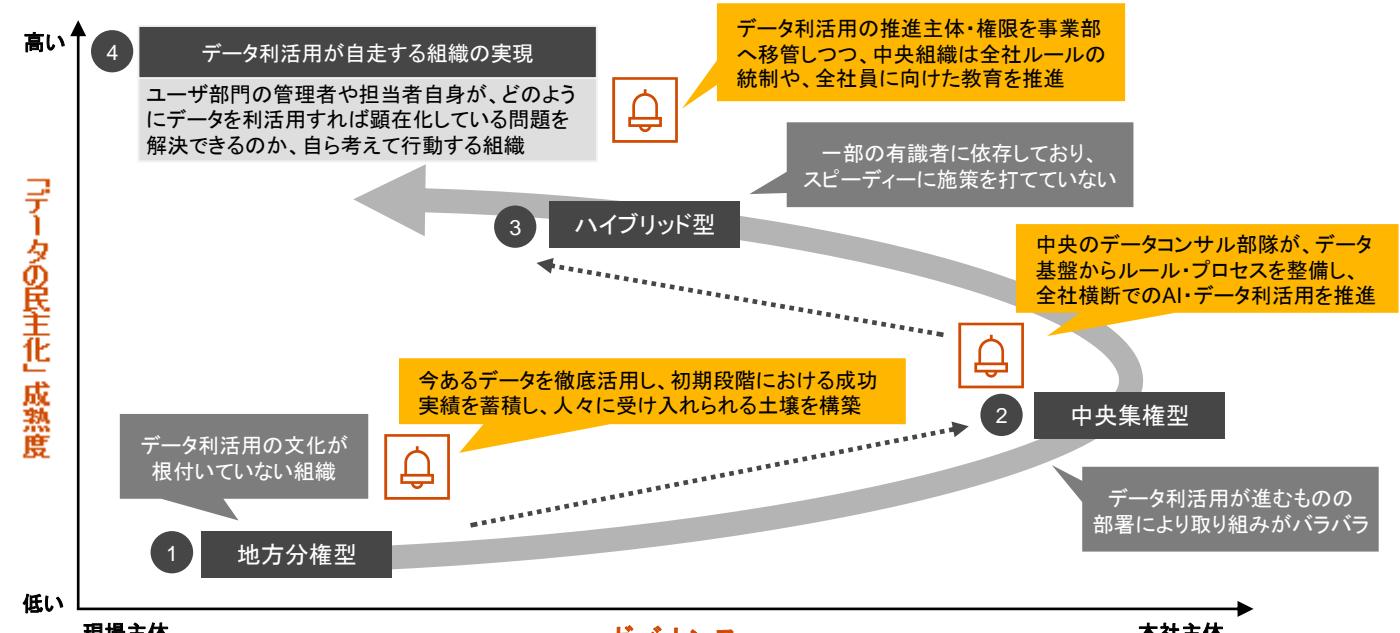
データ利活用時の課題

あらゆる経営アジェンダに「デジタル」が絡み、本腰を入れて「データ利活用」に取り組む企業も増えている。しかし、全社的なレベル向上や仕組み化が実現できている企業は少数であり、部門横断の課題が散見され、人材不足・知見不足など短期的には解決しないケースが多い。



「データの民主化」に向けた組織の成長ストーリー

データ利活用の自立化と自走化組織の実現（データの民主化）には、大きく3つのステージを意識し、自社が今どのステージに位置し、どのような打ち手（施策）が有効か、ガバナンス体制とあわせて検討することが重要である。

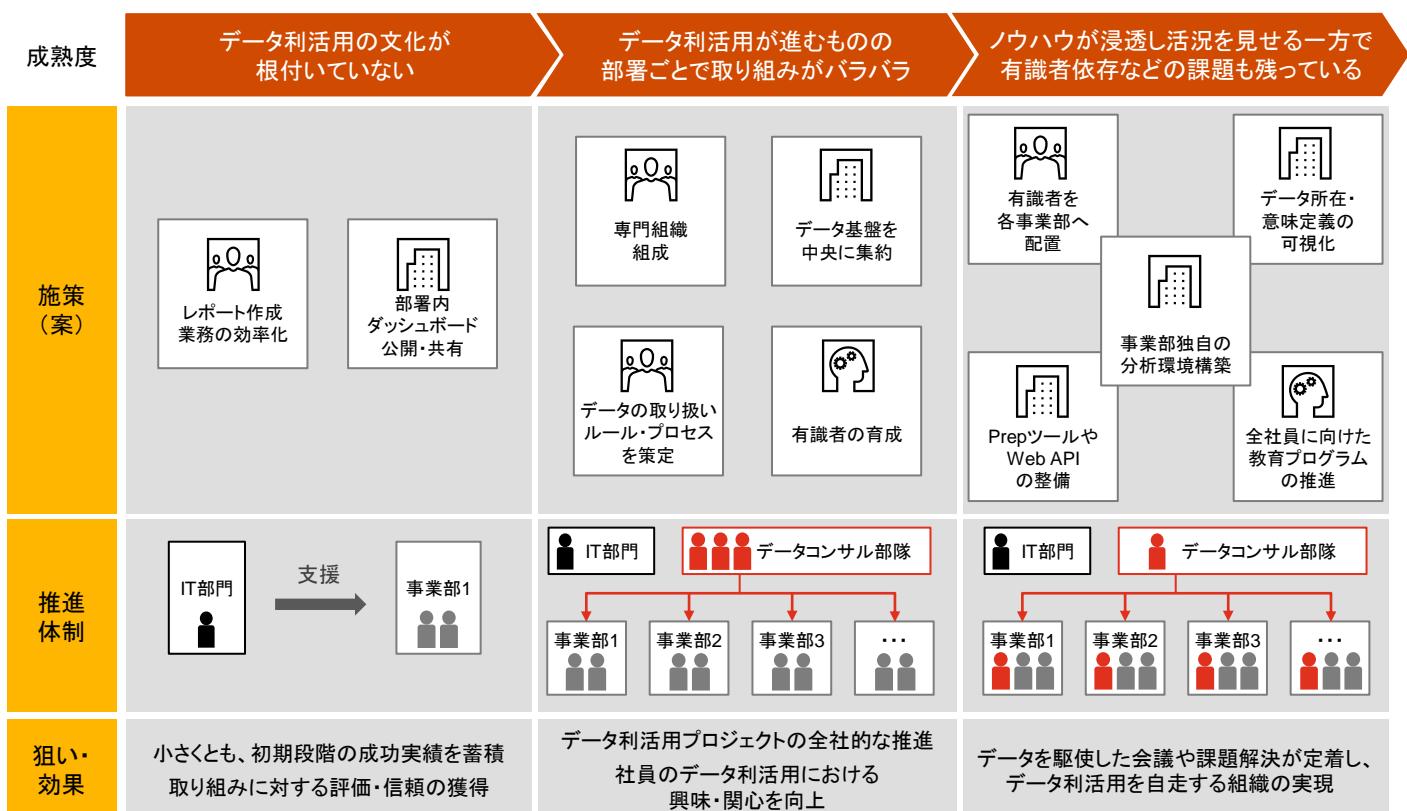


現場での利活用を始め、成功体験を蓄積していくことがスタート時点のポイント。

企业文化にまで発展させていくためには、本社主導による中央集権でプロセスの整備などを図ったうえで、最終的に現場主導のハイブリッド型・データ利活用にすることが「データの民主化」のあるべき姿となる。

フェーズ別の施策案と推進体制

初期段階では投資を抑えて比較的難易度の低い業務テーマから着手し、各組織で一定のデータ利活用が進んだ段階で、ヒト・モノ・カネの大部分を中央組織(CoE)でコントロールし、全社的な取り組みとして推進する。その後は現場に権限を委譲し、社員一人ひとりのデータリテラシーの向上のためのインフラ整備や教育プログラムを推進することが重要である。



データ利活用の自立化と自走化組織実現のための変革支援サービス群

専門知識と実践ノウハウ・知見をもったコンサルタントが、データ利活用に向けた実行計画の策定・実行を伴走型で支援することで、組織のデータ利活用の自立化・自走化を実現する。



* BI(Business Intelligence):意思決定のために情報を分析して得られる知見、ETL:Extract(情報源からデータを抽出)／Transform(抽出したデータをビジネスでの必要に応じて変換・加工)／Load(変換・加工済みのデータをターゲットシステムやファイルとしてロード)、Data Lake:構造化・非構造化データやバイナリ等のファイル含めたデータを一元的に格納するデータリポジトリ、DWH(Data Ware House):時系列に整理された大量の統合業務データ、もしくはその管理システム

お問い合わせ

PwCコンサルティング合同会社

〒100-0004 東京都千代田区大手町1-2-1 Otemachi One タワー

TEL : 03-6212-6810(代表)

pwc.com/jp/ja/about-us/member/consulting.html

PwCコンサルティング合同会社のご紹介

PwCコンサルティング合同会社は、経営戦略の策定から実行まで総合的なコンサルティングサービスを提供しています。PwCグローバルネットワークと連携しながら、クライアントが直面する複雑で困難な経営課題の解決に取り組み、グローバル市場で競争力を高めることを支援します。

© 2022 PwC Consulting LLC. All rights reserved.

PwC refers to the PwC network member firms and/or their specified subsidiaries in Japan, and may sometimes refer to the PwC network. Each of such firms and subsidiaries is a separate legal entity. Please see www.pwc.com/structure for further details.

This content is for general information purposes only, and should not be used as a substitute for consultation with professional advisors.

02022205